日本薬学会 第139年会(千葉) 東ソー ランチョンセミナー



プログラムNo. **LS18**

共催:日本薬学会第139会年会/東ソー株式会社

演題

新しい免疫チェックポイントB4と創薬

日時

3月22日(金)

12:15 - 13:15

会場

幕張メッセ国際会議場 3F 302(P会場)

演者

高井 俊行 先生

(東北大学 加齢医学研究所)

T細胞の免疫チェックポイント (ICP) 阻害抗体ががん免疫の増強に著効を示し世界的に注目されている。我々はこれまでB細胞やMyeloid系細胞のICPを担当する抑制性受容体FcyRIIBやLILR(リラ)B1,B2のアレルギー・自己免疫等における重要性を示してきたが、最近新たにリラB4(B4)が全身性エリテマトーデスなどの自己免疫患者の自己抗体産生プラズマセルに特徴的に、かつ逆説的に、高発現することを発見した (Inui M et al. Int Immu 2016,28:597)。T細胞のICP阻害抗体は同時に自己免疫のリスクを上げるため、がん免疫と自己免疫の双方をバランスよく調節できる技術の開発が急務となっているが、本セミナーではB4のこの点におけるポテンシャルについて紹介したい。

本会ランチョンセミナーは整理券制です。整理券をお持ちの方より優先的にご入場いただけます。

整理券は当日午前9時より、先着順にて発行いたします。発行には学会参加証が必要です。

整理券配布デスク:幕張メッセ国際展示場2階ホール8 コンコース

整理券は、セッション開始とともに無効となります。有効時間内に会場前にてお弁当を受け取りで着席ください。